

広報かみいち総合病院

第50号 令和7年(2025年)2月発行



編集・発行 かみいち総合病院 広報委員会
〒930-0391 富山県中新川郡上市町法音寺51番地
TEL.076-472-1212 FAX.076-472-1213
E-mail:kanri@kamiichi-hosp.jp
URL:https://www.kamiichi-hosp.jp/



御挨拶

院長 佐藤 幸浩

新年明けましておめでとうございます。

令和7年の新春を迎え、皆さまとともに新たな一年をスタートできることを大変嬉しく思います。まず、地域の皆さま、そして病院を支えてくださるすべての関係者の方々に、昨年一年間のご支援とご協力に心より感謝申し上げます。また、日々献身的に患者さまのために尽力して下さる職員の皆さんにも深く感謝の意を表します。

近年地域包括ケアシステムの推進が一層求められています。地域包括ケアは、医療だけでなく、介護や福祉、生活支援などが一体となって、地域全体で支え合う仕組みです。私たちの医療機関も、その一翼を担うべく、地域住民一人ひとりが安心して生活できる環境づくりに励んでまいりました。当院は患者さんの健康と生活の質を向上させることを使命とし、地域とともに歩む病院であり続けることを目指しています。今年も引き続き、地域との連携を深め、各関係機関との調整を行いながら、患者さんに必要な医療が提供できるよう尽力していきます。

新型コロナウイルス感染症の収束が徐々に見え始める中で、医療現場においても新たな課題や変化への対応が求められました。当院では感染防止対策を徹底しながら、地域包括ケアの強化やリハビリテーションの充実に取り組み、地域の高齢化や複雑化する医療ニーズに対応する

ため、多職種連携をさらに深化させ、患者中心のケアを実現するための取り組みを推進してきました。

令和7年におきましても、住民の皆様が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、医療と福祉の連携を一層強化し、切れ目のない支援体制を構築し地域包括ケアの強化を行っていきたくと考えています。急性期医療の質の向上に努めるとともに、患者さんの早期回復と社会復帰を支援し、回復期リハビリテーションの充実、地域における心の健康を支えるため、精神科医療の質の向上を目指していきます。

外来診療は、地域の皆様にとって最も身近な医療機関としての役割を果たす重要な部分です。地域の皆さまが気軽に受診できる環境を整備し、外来診療の質と利便性をさらに向上させます。

また、医療従事者がその能力を十分に発揮できるよう、働きやすい環境づくりに力を入れ、職員一人ひとりがやりがいを感じられる職場環境の整備に努め、さらなる発展を目指していきます。これからも、患者さんとの信頼関係を大切にし、ご要望やご意見をしっかりと受け止めながら、より良い医療を提供してまいります。

これらの取り組みを通じて、かみいち総合病院は地域医療のさらなる向上を目指し、地域住民の皆様にとって欠かせない存在であり続けるため努力していきたいと考えています。皆様の健康に寄与すべく、誠心誠意努力していく所存です。本年も、スタッフ一同、皆様の健康と安心を第一に考え、より高い医療サービスの提供に努めてまいりますので、引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。最後になりますが、令和7年が皆様にとって健康で実り多い一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

基本理念

「住民が安心して地域で暮らし続けるための医療の砦として私たちの病院が存在する。」

基本方針

- 1 患者さんへの思いやりを第一とし、患者さんの尊厳と権利を尊重し、十分な説明と同意のもとに患者さんと共に創出する医療を提供し、患者中心の全人的医療を行います。
- 2 職員一人一人が「病院の顔」であることを自覚し、医療倫理を守り、真摯な態度で医療に取り組むことで安心・安全・良質な医療を行います。
- 3 専門職としての誇りと目標を持ち、常に研鑽を重ね、知識・技術・医療水準の向上に励みます。
- 4 全ての職種が互いに信頼し協働して、多職種連携による充実したチーム医療を行います。
- 5 地域の基幹病院・在宅療養支援病院として医療・福祉・介護・保健分野と連携を促進し、地域包括ケアシステムの一翼を担う地域完結型医療を目指します。
- 6 住民との交流イベントや啓蒙活動を通じて、地域住民の健康増進と町づくりに貢献する地域に開かれた病院を目指します。
- 7 職員が働く喜びと誇りを持ち、安心して働ける充実した職場環境を整備し、明るい病院づくりと人材育成に力を入れます。
- 8 自治体病院としての公共性を担いつつ、経済性を考慮した健全で効率的な病院経営に努めます。

「フレイル予防に取り組んでいます」

皆さん、「体重が半年で2～3kg以上減った」、「この1年間に転ぶことがあった」、「お茶や汁物でむせるようになった」など、こんな質問に心当たりがある人はいませんか？

もしかしたら「フレイル」と呼ばれる「介護が必要になる一歩手前」の状態かもしれません。

コロナ禍を経て外出や交流の機会が減ったことで、いま高齢者を中心に「フレイル」と呼ばれる状態の人が増えているのではないかと懸念されています。

フレイルとは、日本語にすると「虚弱な」という意味です。

年を重ねていくと、心身や社会性などの面でダメージを受けたときに回復できる力が低下していき、健康に過ごせていた状態から、支援を受けなければならない要介護状態に変化していきます。健康な状態で少しでも長く過ごすために、しっかり予防し対策していくことが重要です。

フレイルには主に3つの要素があります。足腰の筋力が衰えて、立ったり歩いたりするのがつらい状態。認知機能の低下や軽度のうつ症状になる状態。人との関わりがなくなって孤独感が深まるような状態です。こうしたことが重なったり連鎖したりして、自立して生活する力が全般的に下がってしまいます。

しかし、早期発見し、適切な取り組みをすることによって、健康な状態に戻る可能性が高まります。

リハビリテーション科では、院内業務だけでなく、上市町包括支援センターと協業してフレイル予防事業に取り組んでいます。ご自身のことだけでなくご家族や地域の方で気になる方はいませんか。1人で悩まず、当院や包括支援センターにご相談下さい。専門的な立場からアドバイスさせていただきます。

「ふれあい看護体験」

かみいち総合病院では、公益社団法人富山県看護協会主催の「看護の日・看護週間」事業における

「ふれあい看護体験」を毎年実施しています。

この事業は、ナイチンゲール生誕の日（5月12日）の前後に、地域の児童に対し看護に関する興味、関心等をもってもらい「看護のこころ」を伝えることを目的としています。

なお、従来は病院にて実施していた「ふれあい看護体験」を、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年から小学校に出向いて行う「ふれあい看護体験出前講座」を開始しました。令和6年は、上市町3校（南加積小学校、相ノ木小学校、白萩西部小学校）から申し込みがあり、5・6年生50名と保護者5名が参加しました。

「ふれあい看護体験出前講座」の実施内容は、かみいち総合病院紹介、看護師・助産師・保健師職業紹介、看護体験（点滴体験、血圧測定、術衣着用、妊婦体験、赤ちゃん抱っこ・着替え体験等）と、児童に興味をもってもらえるよう様々な体験を実施しました。点滴体験では、エプロンや手袋を装着し、真剣な表情で点滴滴下スピードを調整していました。赤ちゃん抱っこ、着替え体験では、胎児人形で成長の過程を見たり、触ったりして命の尊さを実感していました。心臓マッサージ

やAED体験では、AEDが届くまで心臓マッサージを継続しなければならぬため、人を多く集めることの重要性や命の大切さを学びました。

看護体験を実施した児童からは、「バドミントン選手になろうと思っていたけど、今日の話聞いて看護師になりたいと思った」「みんなの命や心を守っていくためにすごく大切な仕事で尊敬した」「今回の看護体験はインターネットで調べるよりも身近に感じ、心に深く残った。」などの意見が聞かれました。質疑応答では、「聴診器を当てると心臓の音が大きく聞こえるのはどうしてですか」「手術室では、どのようなことに気をつけていますか」「上手に赤ちゃんを抱っこするコツはありますか」など活発な意見交換ができたことより看護に関する興味・関心をもってもらうきっかけになりました。また、保護者が参加されたことで、親子で看護に触れる貴重な機会となりました。

令和7年度からは、より多くの学校に参加してもらえよう、全学年を対象とし、クラス単位での申し込みも可能とすることや、通年を通して実施できるようにします。一人でも多くの児童が、看護に興味をもち、将来看護職を目指すきっかけになれば幸いです。



講義



術衣体験



救急救命



赤ちゃん抱っこ・着替え体験



点滴滴下体験

なぜ今、骨粗鬆症に着目するのか？

～自分で延ばす健康寿命～

当院では骨粗鬆症の検査と治療に力を入れております。なぜかという、骨が弱いことによる骨折（脆弱性骨折）を予防するためです。

2022年の厚生労働省「国民生活基礎調査」によると、要支援・要介護になる理由の1位は認知症で16.6%ですが、3位の骨折・転倒が13.9%、5位の関節疾患は10.2%でありこれらを合わせると整形外科疾患が最も多い要因になっているといわれています。

健康寿命とは日常生活が制限なく生活できる期間のことであり、平均寿命との差が約10年あるとされ、まさに要支援・要介護を要している期間といっても過言ではありません。介護される方、家族にとっても望ましい期間ではなくこの原因に対し予防することで自分の健康寿命を延ばすことができます。

そのためにできることのひとつが骨折予防で、①転倒リスクを減らすこと②自分の骨の状態を把握し早期から骨粗鬆症へ介入することだと考えます。

転倒リスクを減らすためにはウォーキングや水中歩行などの有酸素運動、スクワットなどの筋力トレーニング、片脚立位などのバランス訓練がよいでしょう。さらに関節疾患に関しては、お近くの整形外科を受診し治療を行うことで、痛みを改善し運動できる身体にすることも大切です。しかし、転倒リスクは常に気をつけていても、たった1回の予期しない転倒で骨折が生じます。実際に脊椎圧迫骨折や大腿骨骨折

で受診ないし搬送され、「転ばないように気をつけていたのに。」と涙を流されて入院初日を送る方もおられます。

そこで次に誰でもできる対策が骨密度検査と治療になります。骨粗鬆症検診は、健康増進法のもと、40～70歳の女性に5歳刻みで実施されています。しかし、その検診率は約5%であり、富山県は約3.5%とさらに低いのが現状です。

当院では入院中に転倒リスクが高いと判断した場合や整形外科外来を受診されている方に骨密度検査をお勧めしております。

この広報を今見ている皆さん！骨密度検査を受けたことのない方に1度お試しいただきたい検査があります。ネット環境があればすぐにできるFRAX®という世界保健機関(WHO)の国際共同研究グループが作成したプログラムがあり、骨粗鬆症による骨折が向こう10年のうちに発生する確率を計算するものです。この検査で骨折リスクが高く出た方はお近くの整形外科へご相談ください。

2025年より当院では上市町、近隣の調剤薬局さんと協働し骨密度検査の受診率向上にむけてさらなる対策を考えていく予定です。当院ではひとりでも多くの方の骨折予防を行い

健康寿命を延ばしていただけるように邁進してまいります。

患者サポート相談窓口のご案内

相談を希望される方は…
窓口 ● 患者サポート相談窓口（北館1階）
受付日 ● 月曜日～金曜日（外来休診日・年末年始を除く）
時間 ● 8:30～17:15

当院担当職員が相談内容に対応いたします。

*窓口以外にも、電話や投書箱、E-mailでもお受けいたします。
E-mailアドレス kanri@kamiichi-hosp.jp

相談内容

- 診療内容について
- 転院・施設紹介について
- 医療費・福祉制度について
- 個人情報・情報開示について
- 医療安全について
- 主治医以外の医師の意見（セカンドオピニオン）
- ご意見・ご要望 その他



お問い合わせ先

かみいち総合病院 患者支援相談室
電話：076-472-1212（代表）

職員募集

期間に定めのある職員を募集しています。



職種：

看護師、助産師、
薬剤師、看護補助者、
管理栄養士、理学療法士、
作業療法士、医療メディエーター

お問い合わせ先

電話：076-472-1212 担当／総務課 人事担当

つるぎフェスティバル in kamiichi & 病院祭

令和6年11月10日(日)秋の上市町でお腹もココロもいっぱいになるまで満喫しよう!をコンセプトに地域の恵み、季節の恵みに感謝し、地域住民が主役となって開催される「つるぎフェスティバルin kamiichi」に kamiichi 総合病院も参加してきました。

「住民の健康を守る!健康寿命を延ばす!」をスローガンに kamiichi 総合病院では、フレイルや骨密度、医療者の相談コーナー、子供たちとのふれあいの場を設け、多くの地域住民の来場がありました。また、県看護協会 上市支部の協働による、血圧測定・体脂肪測定・血管年齢測定・認知症相談を実施し、看護の妖精「かんごちゃん」も来場し子供たちの人気を集めました。

骨密度測定には約200名が検査を行い、転倒しない、転倒しても怪我をしない身体作りについて医師・看護師、他スタッフより説明がされ地域住民の健康に繋がることが出来ました。また、薬剤師や栄養士、理学療法士が「病院に行くほどではないけど心配」「本当はここが知りたかった」という地域住民の疑問や不安に

対し、病院ではない地域と言う場でお話を聞き相談にのれたことは、今後、上市町民が健康で元気に過ごしていくためのお手伝いが出来たと思います。

これからも、kamiichi 総合病院は、地域住民の健康を守り、健康寿命を延ばす取り組みを継続して行っていく予定です。また、kamiichi 総合病院では認定看護師の出前講座(地域の公民館や学校、施設に出向きます)も随時開催しています。「認知症や摂食嚥下、骨折をしない身体作り、猫背を治して病気になりにくい元気な身体、感染を未然に予防しよう、人生の最期をどこで過ごしたいですか?」等をご活用いただき、町全体で健康になり最期まで住み慣れた上市町で笑顔で暮らしていきましょう!



健診センターからのお知らせ

がんが国民の生命及び健康にとって重大な問題となっている現状にがんがみ、がんの予防及び早期発見の推進を図ることにより、がんの死亡率を減少させることを目的に年に一度のがん検診を推奨しています。

kamiichi 総合病院では女性に配慮した健康診断を行うため、「女性スタッフによる、女性のための、土曜レディース(子宮・乳房)健診」を平成24年度から継続して実施しており、今年も大変、ご好評の声をいただきました。次年度も引き続き実施する予定ですので皆様のご予約をお待ちしております。

令和6年度実施状況

6月22日、7月13日、7月27日、9月14日、9月28日、10月12日、10月26日、11月9日の各土曜日、全8回

子宮健診

頸部のみ…………… 36件
頸部+頸体部… 66件

乳房健診

マンモグラフィ1方向 …… 14件
マンモグラフィ2方向 …… 99件
乳腺超音波検査 …………… 79件

合計 延べ、294件 129人の方に実施

【お問合せ先】kamiichi 総合病院 健診センター 直通Tel.076-472-5136

※お問合せ・ご予約等は午後2時から午後4時までにご利用します。

マイナ保険証の利点



1 データに基づくより良い医療が受けられます

過去に処方された薬や特定健診などの情報を担当医師が確認することができます。より良い医療を受けることができます。

2 手続きなしで高額療養費の限度額を超える医療費の支払いが免除されます

公的医療保険が適用される診療に対しては限度額を超える分を支払う必要がありません。(ただし、入院時の食事負担や差額室料等は対象となりません。)

3 保険証情報の確認待ち時間が短縮されます

カードリーダーを用いて保険資格情報を自動取得するため、患者様の待ち時間が短縮されます。